



私の名はジャスティスレディ

この星を護るために
遠い宇宙からやってきた

宇宙の平和を護る機関
「イーリス」

私達は平和を脅かす
悪と闘う

いまこの星は
宇宙外来生物により
危機に直面している

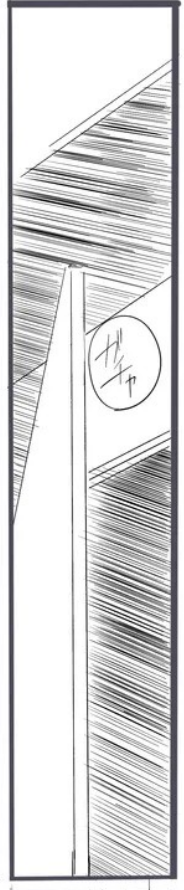
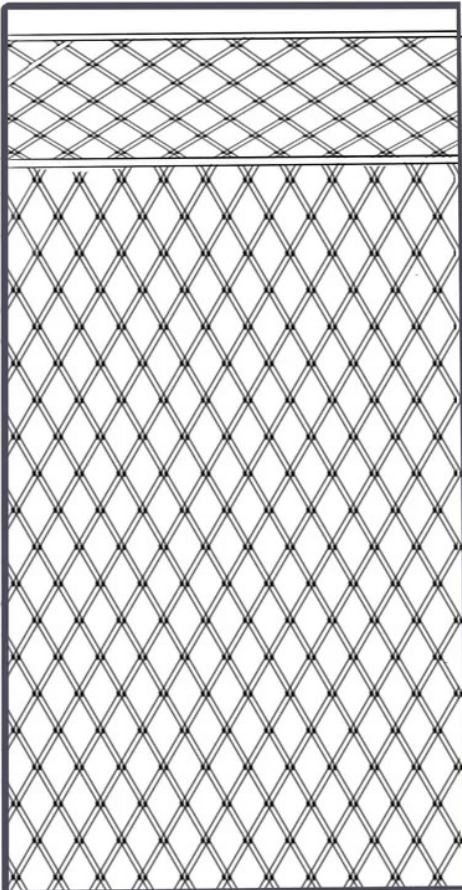
宇宙特級公害害獣
「ドグマ」

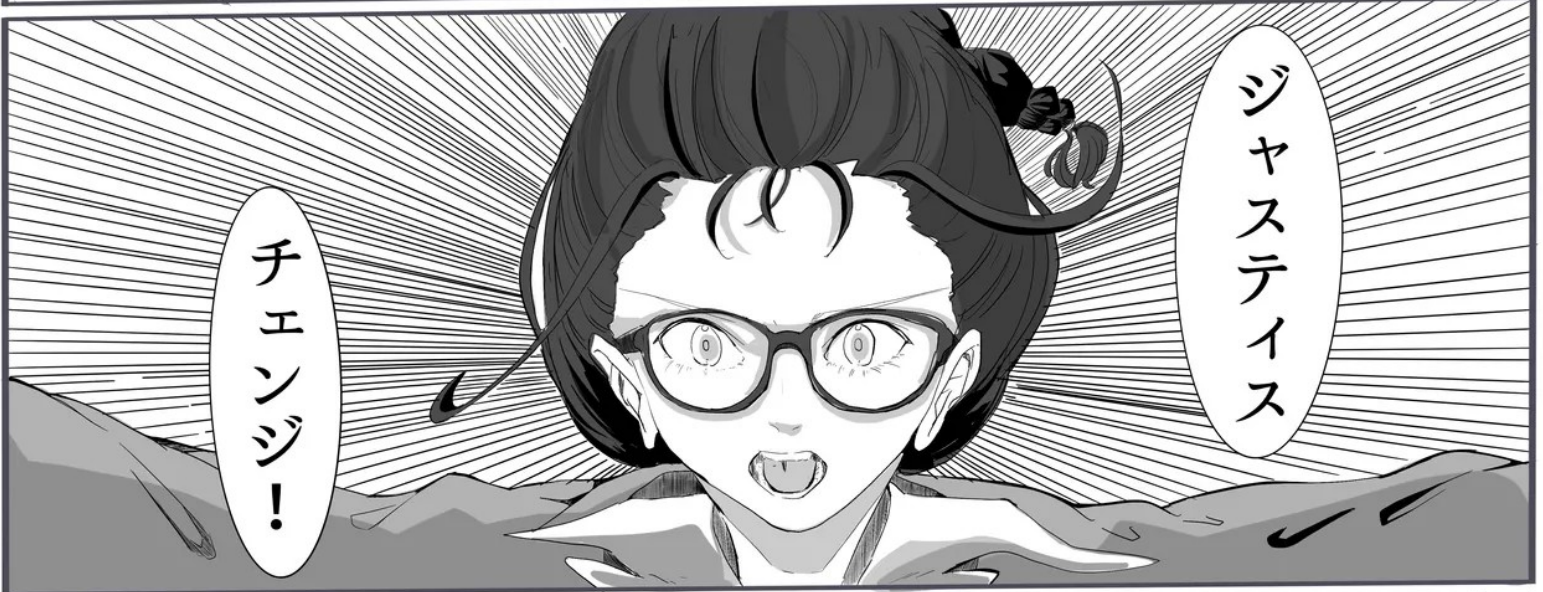
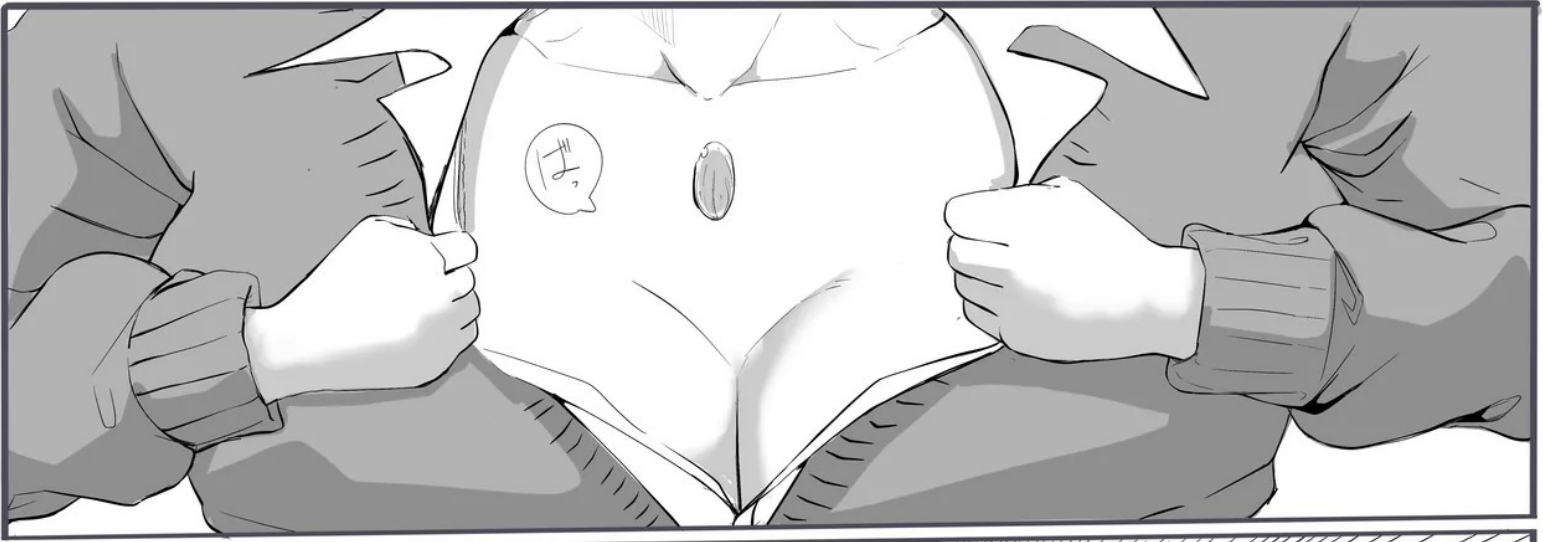
惑星中を蹂躪し
異常な速度で繁殖する
危険生物

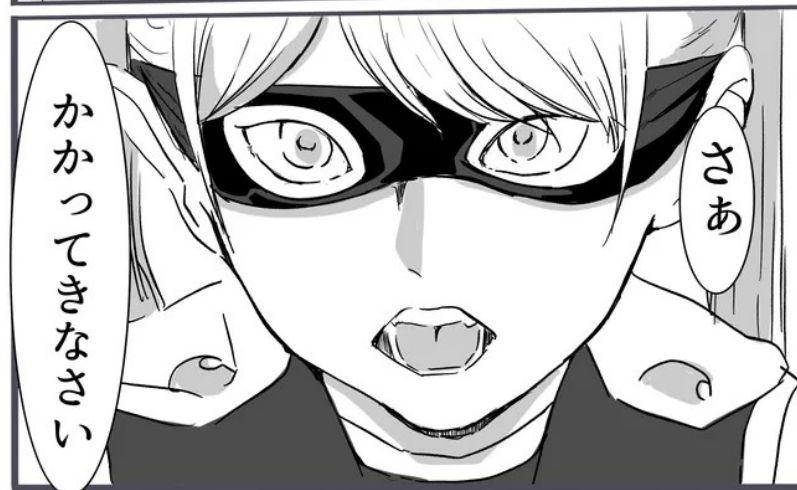
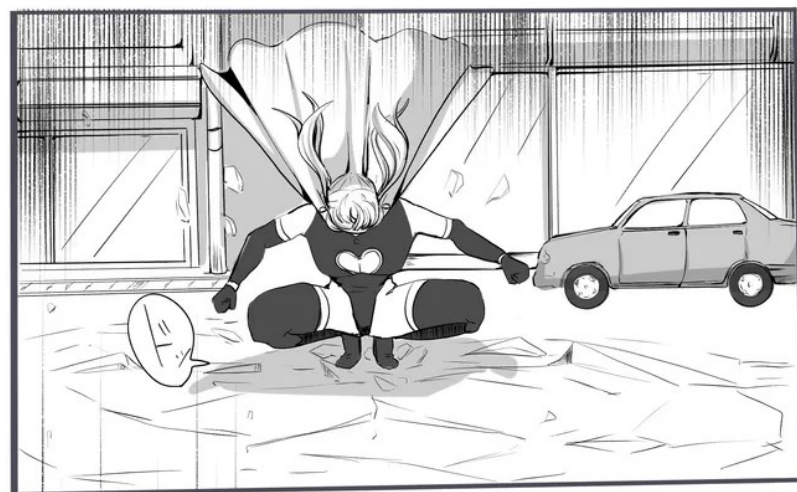
この反応は
「ドグマ」が現れた

行かなくちゃ！

この星の平和は
私が護る











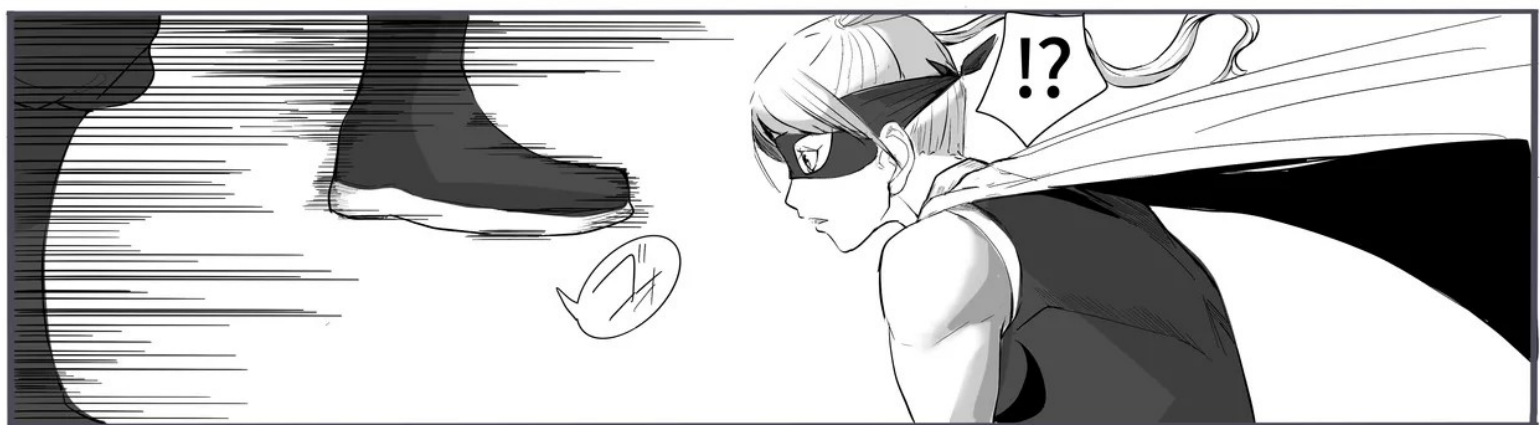
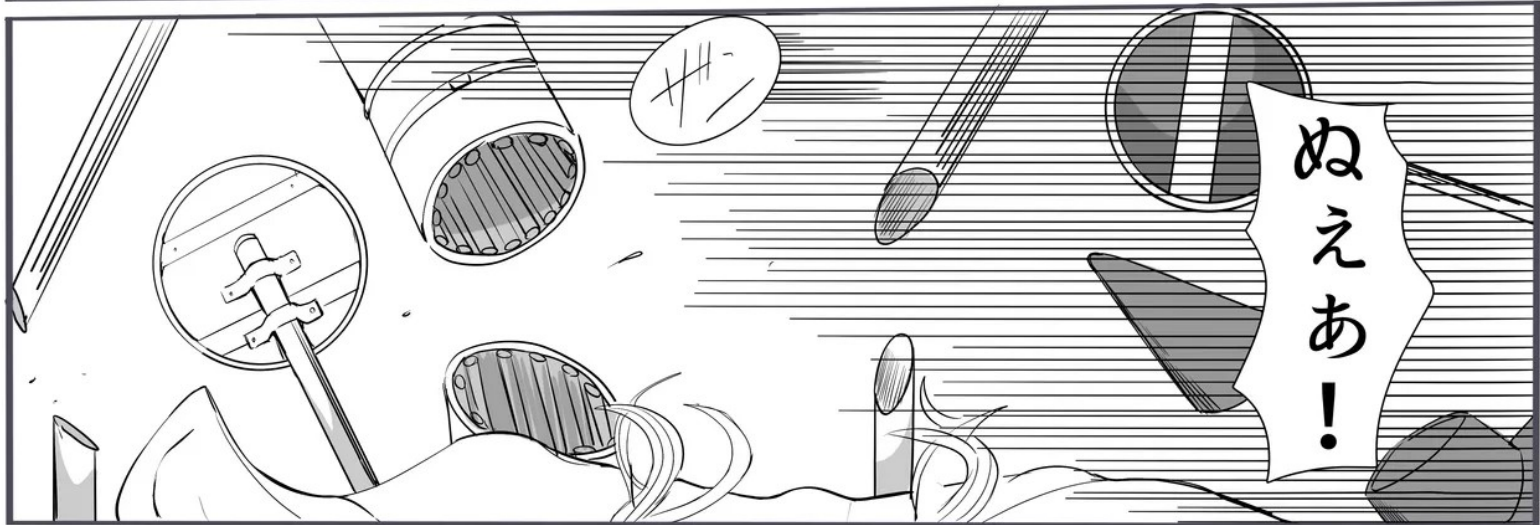
ぐあっ!

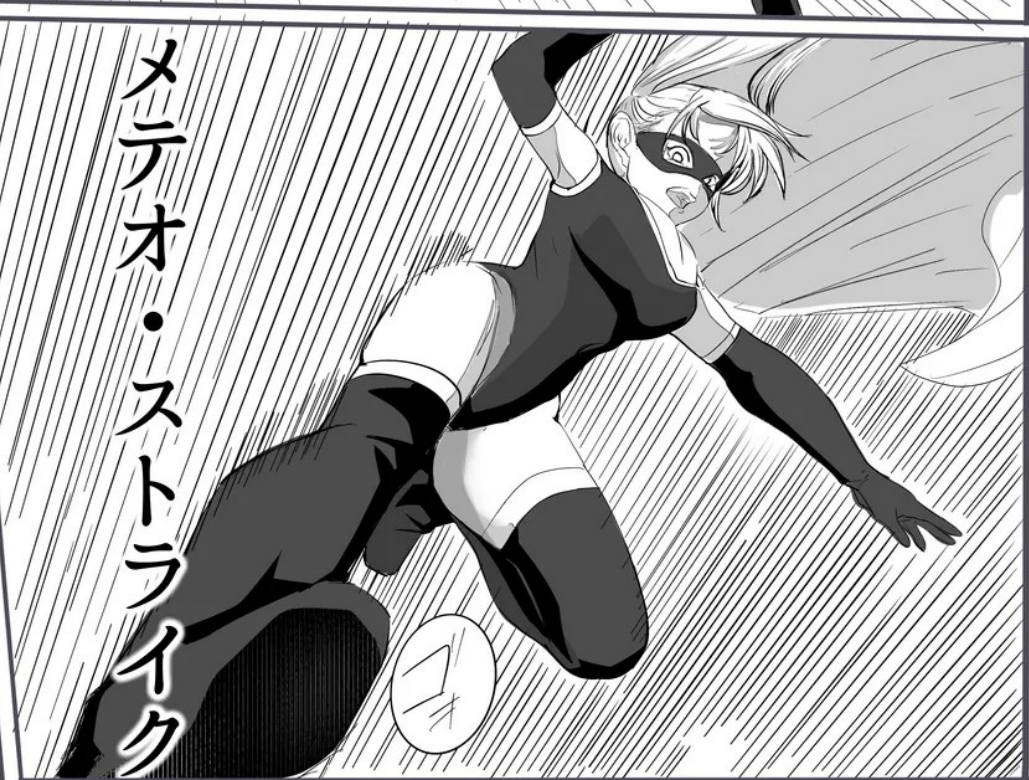
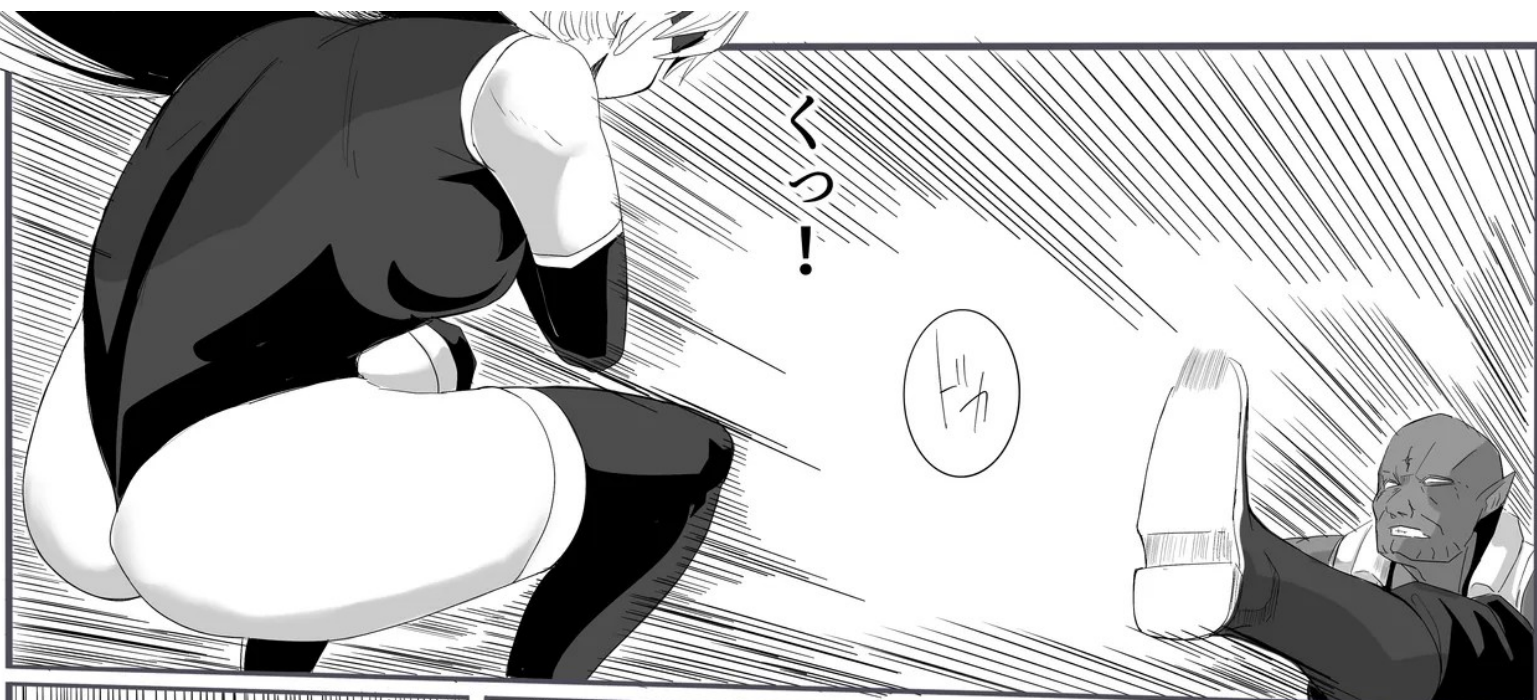
ナツクル!

!?

げはっ!

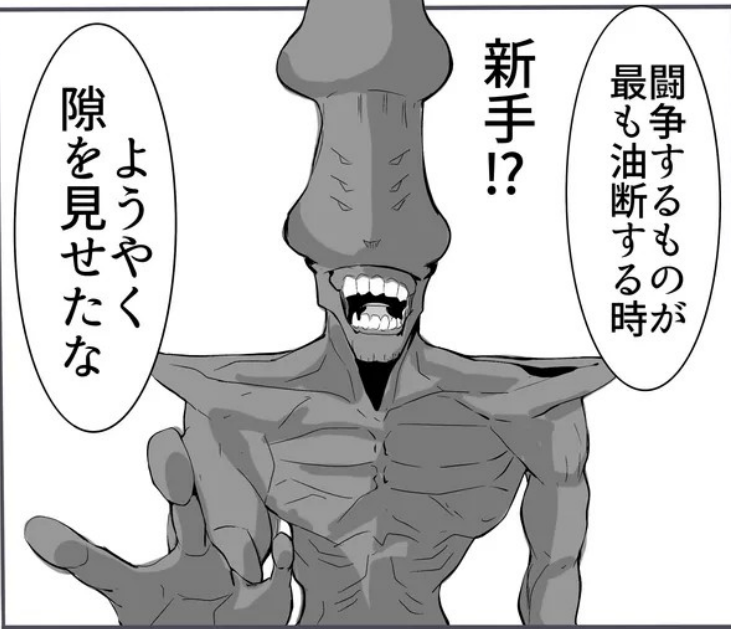
ぐはっ!







ぐあああ！



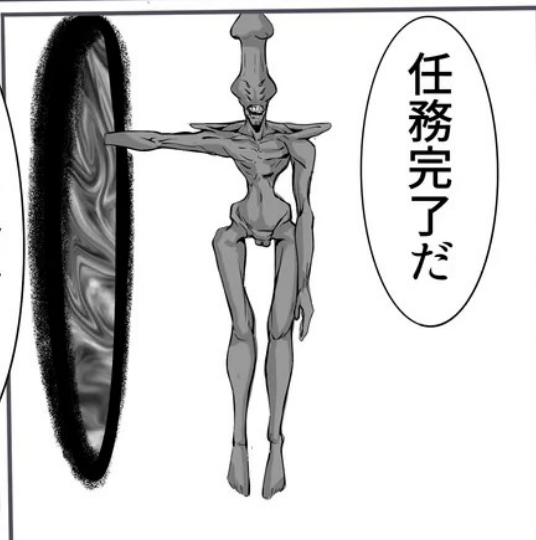
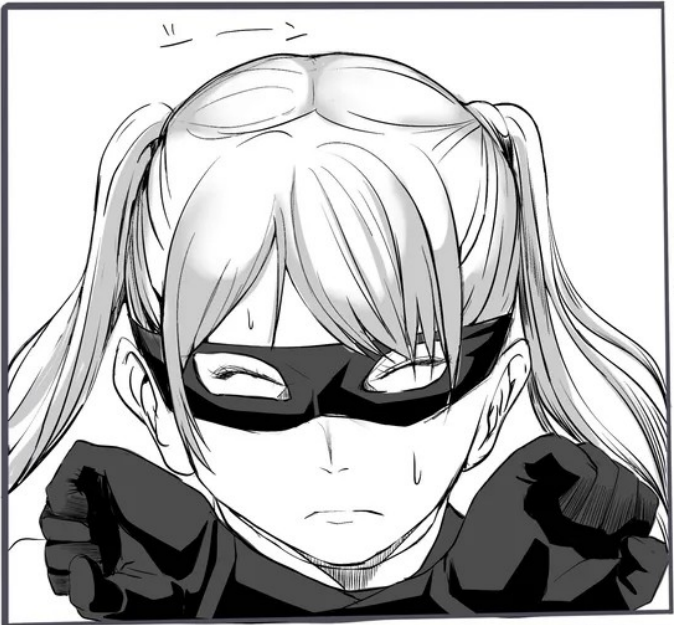
新手!?

ようやく
隙を見せたな

闘争するものが
最も油断する時



勝利の瞬間は



数日後

お手洗い

くっ

ははは
ははは

ははは
ははは

まさかこんな事になる
なんて

身体が熱い...

ははは
ははは

この為の...

あの攻撃は

性衝動が
おさまらない

ははは

ははは

手が止まらない

ははは
ははは

ははは

射精る！



は、早く
なんとかしないと・・・

身体が持たないよお





この気配は！

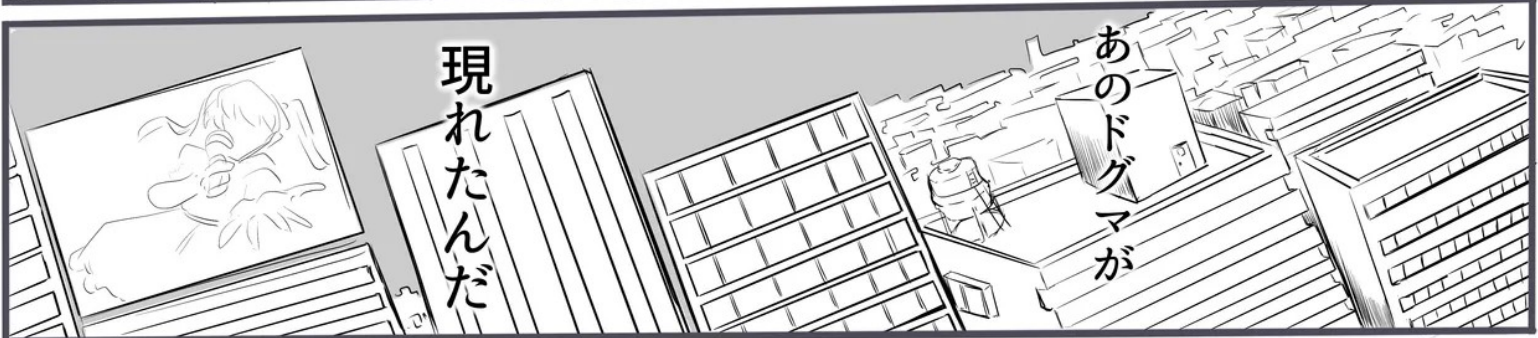


あのドグマを
倒せば問題は解決する筈



落ち着くんだ

取り乱せば
敵の思う壺



あのドグマが

現れたんだ



ふざけないで

直ぐに倒してやる！

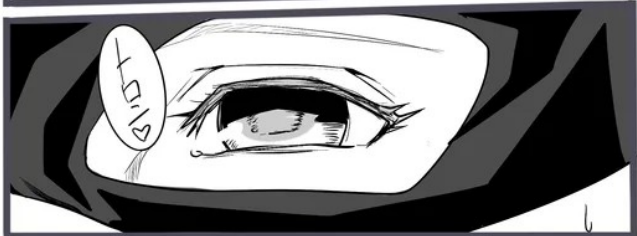
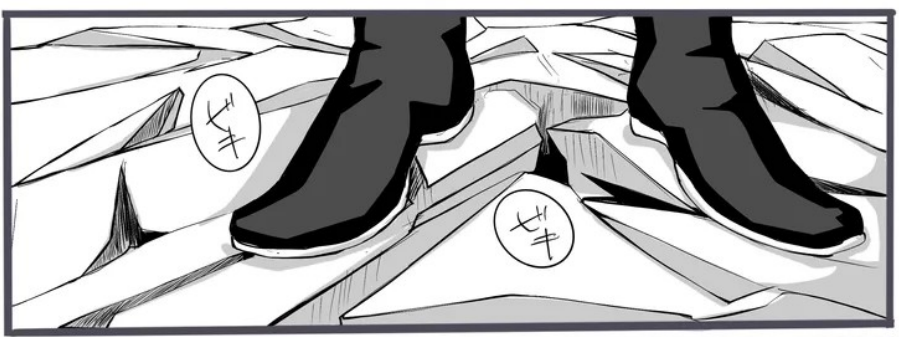


久しぶりだな
ジャスティスレディ

プレゼントは
気に入って貰えたかな



見つけた！





ここは・・・

一体



ドグマアジト



んっ



我はキングドグマ

全てのドグマは
我から産まれる



ドグマか!?

目が覚めたか
ジャステイスレディ

我が子を散々
葬った貴様には

償いをして
貰わねばなるまい

ゼー

ズッ

な、何をするの

硬くそそり立たせおって

直ぐに楽にしてやる

や、やめ？

ぐ

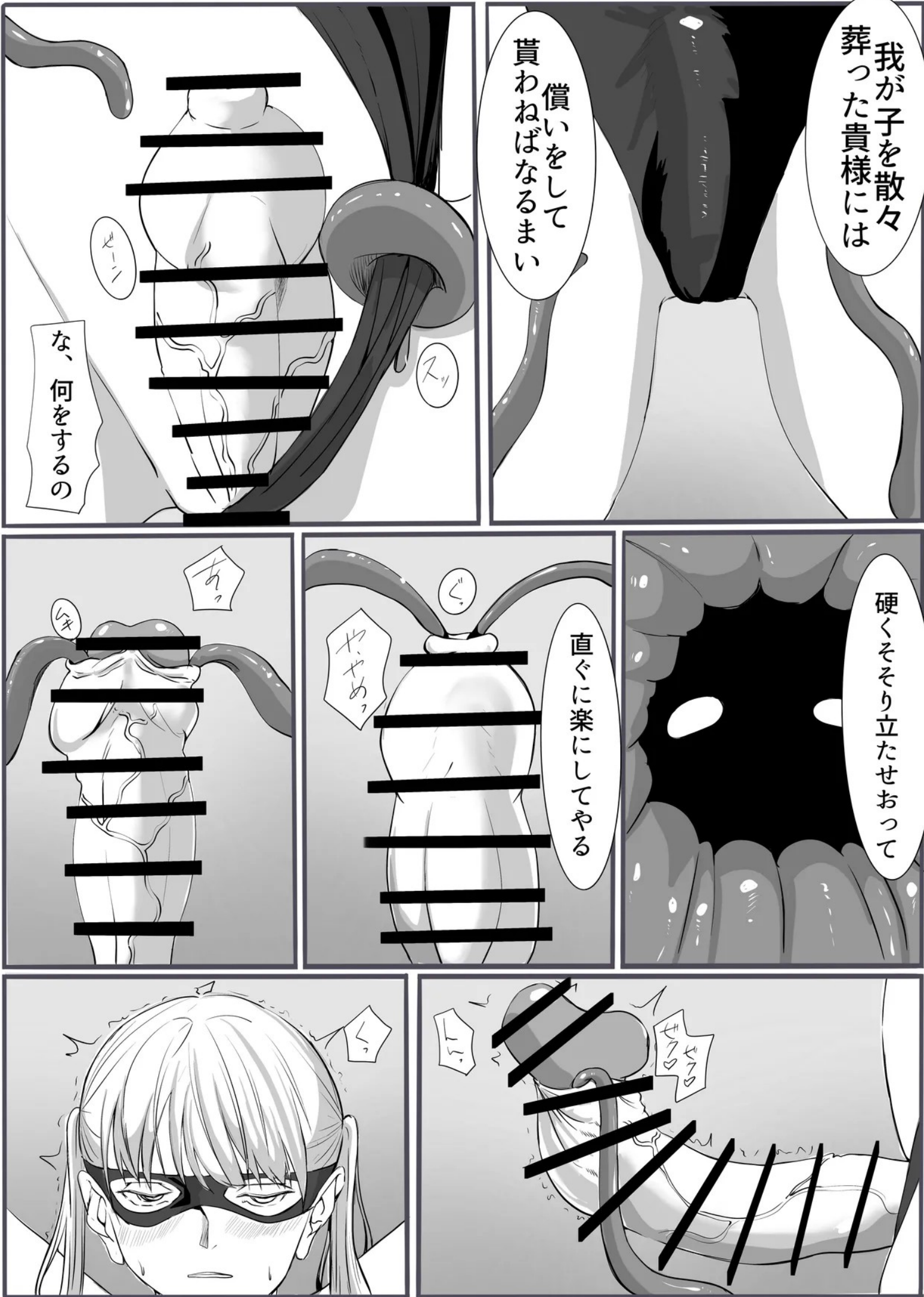
あ

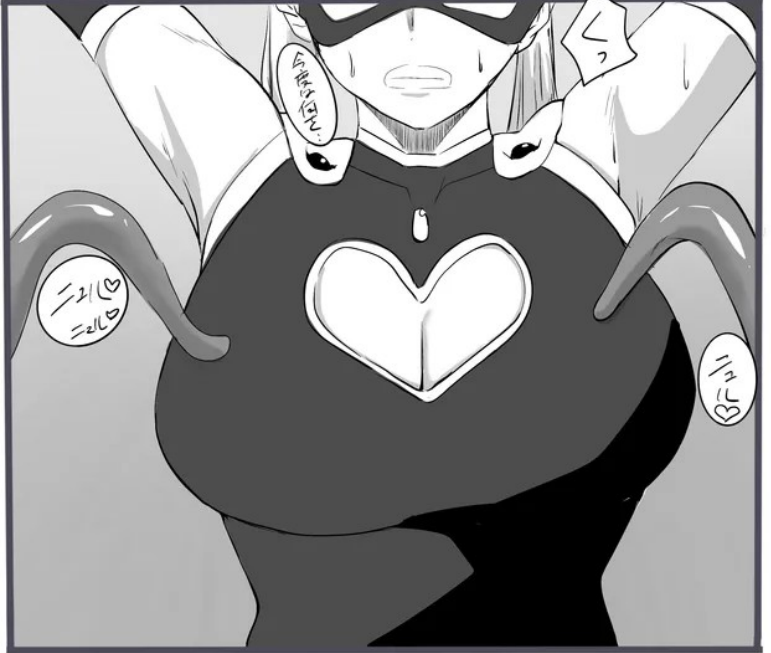
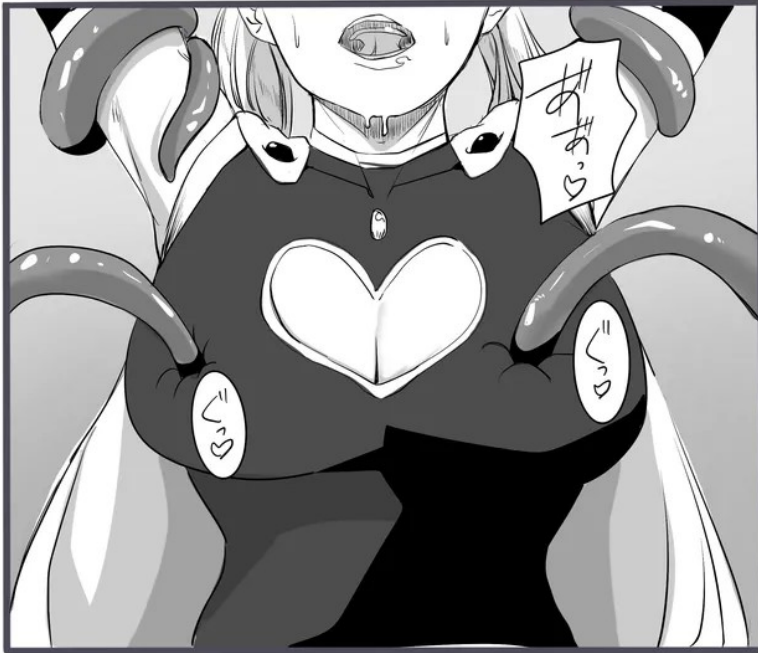
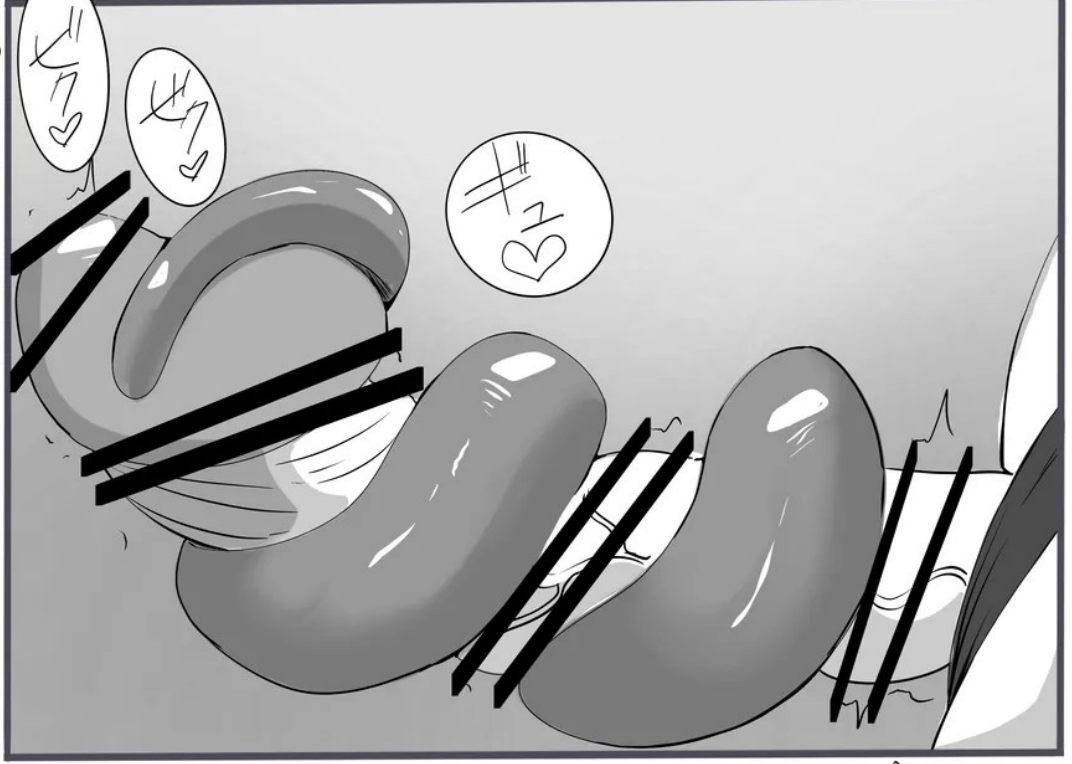
ん

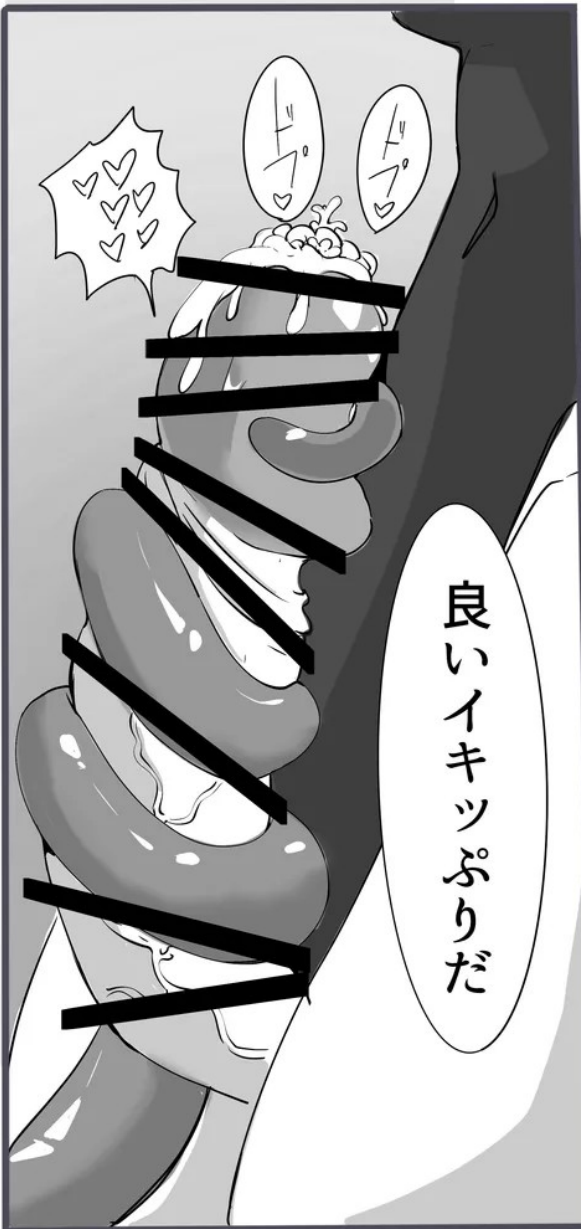
ん

ゼー
♡
ゼー

ん







良いイキツぷりだ



イツく!

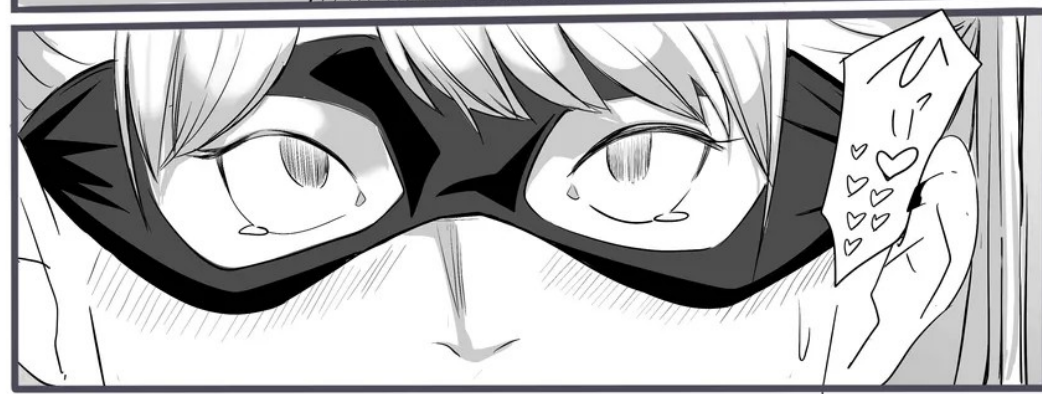
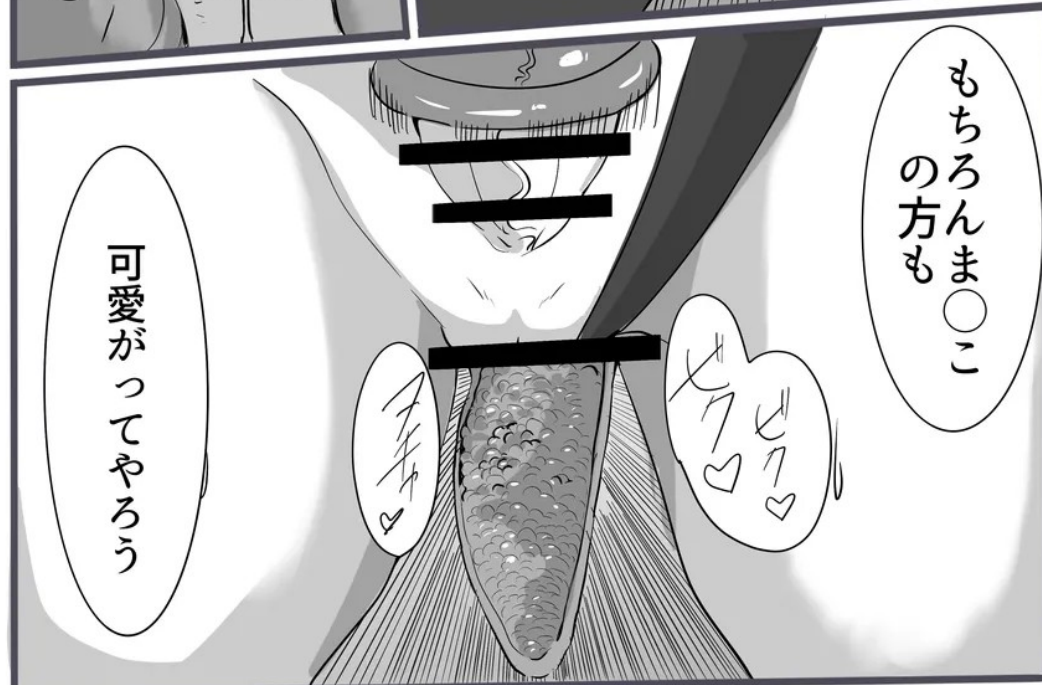
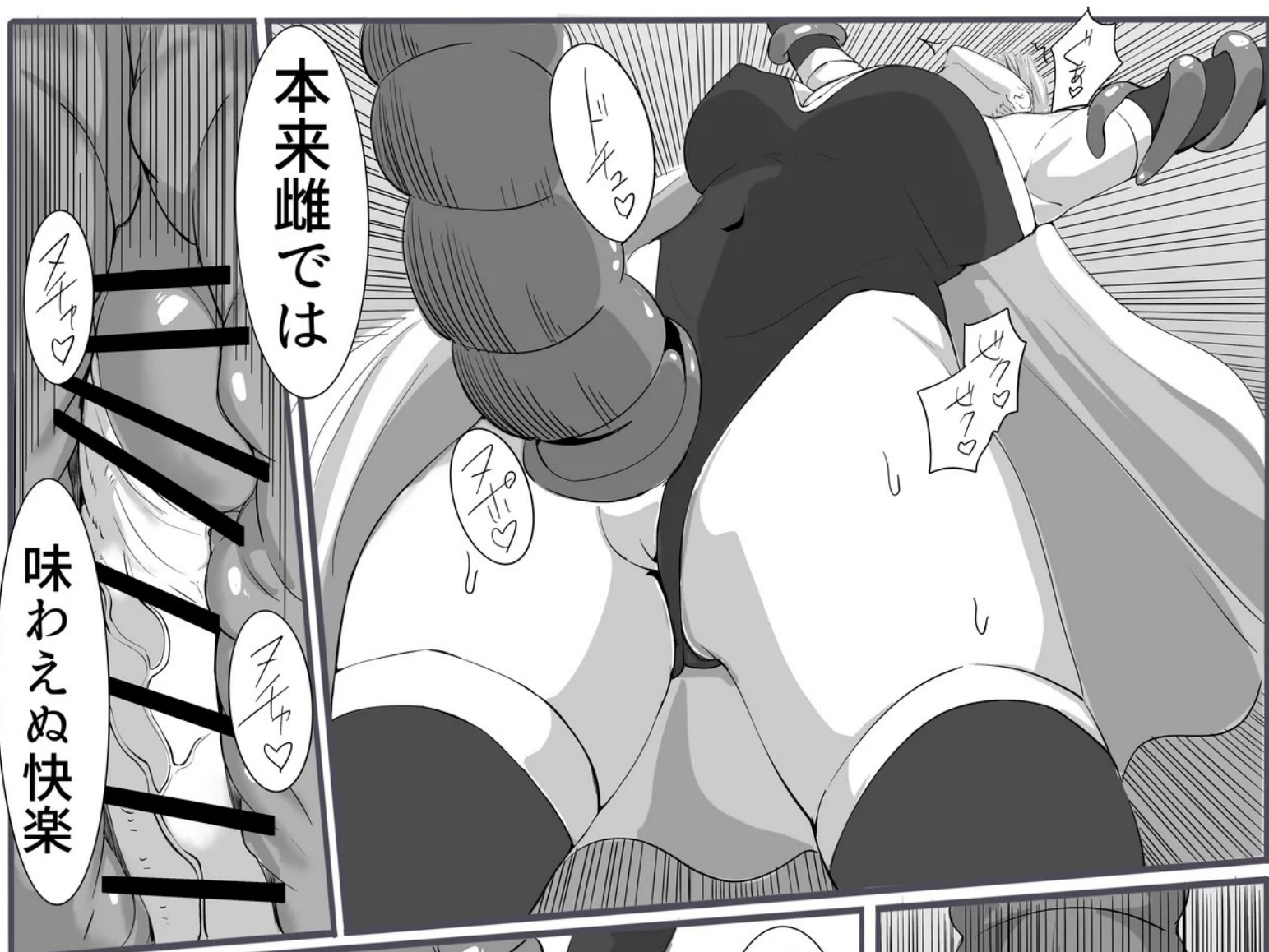


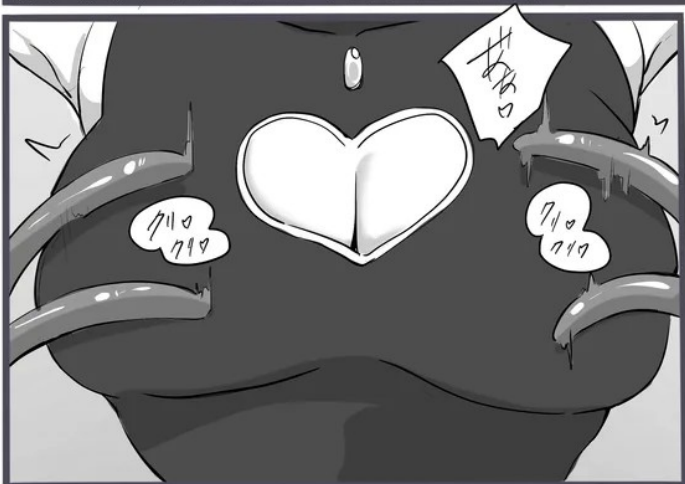
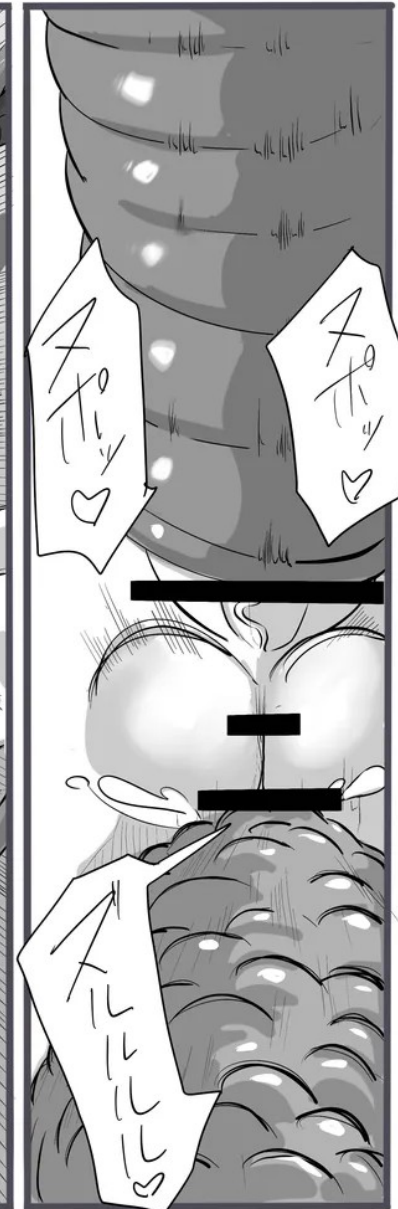
こんな事したって
私は

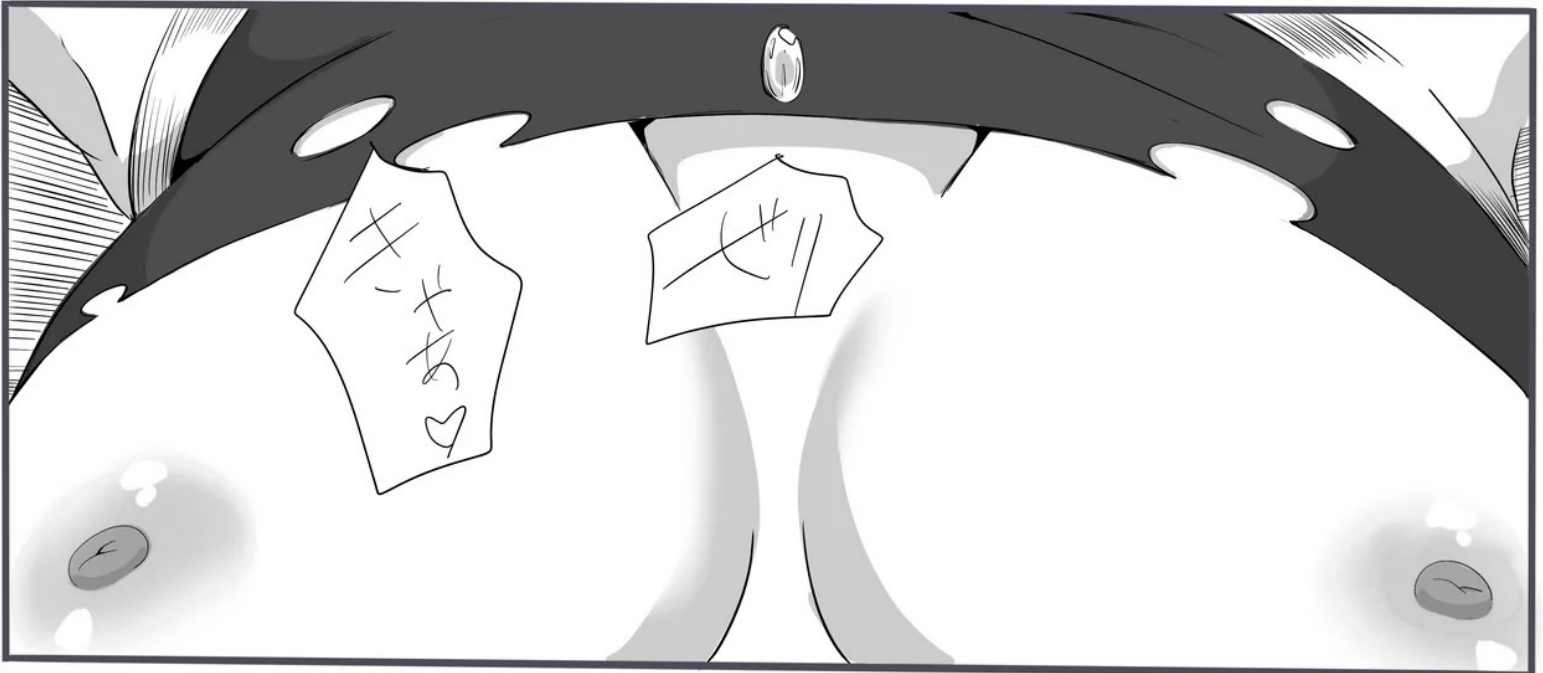
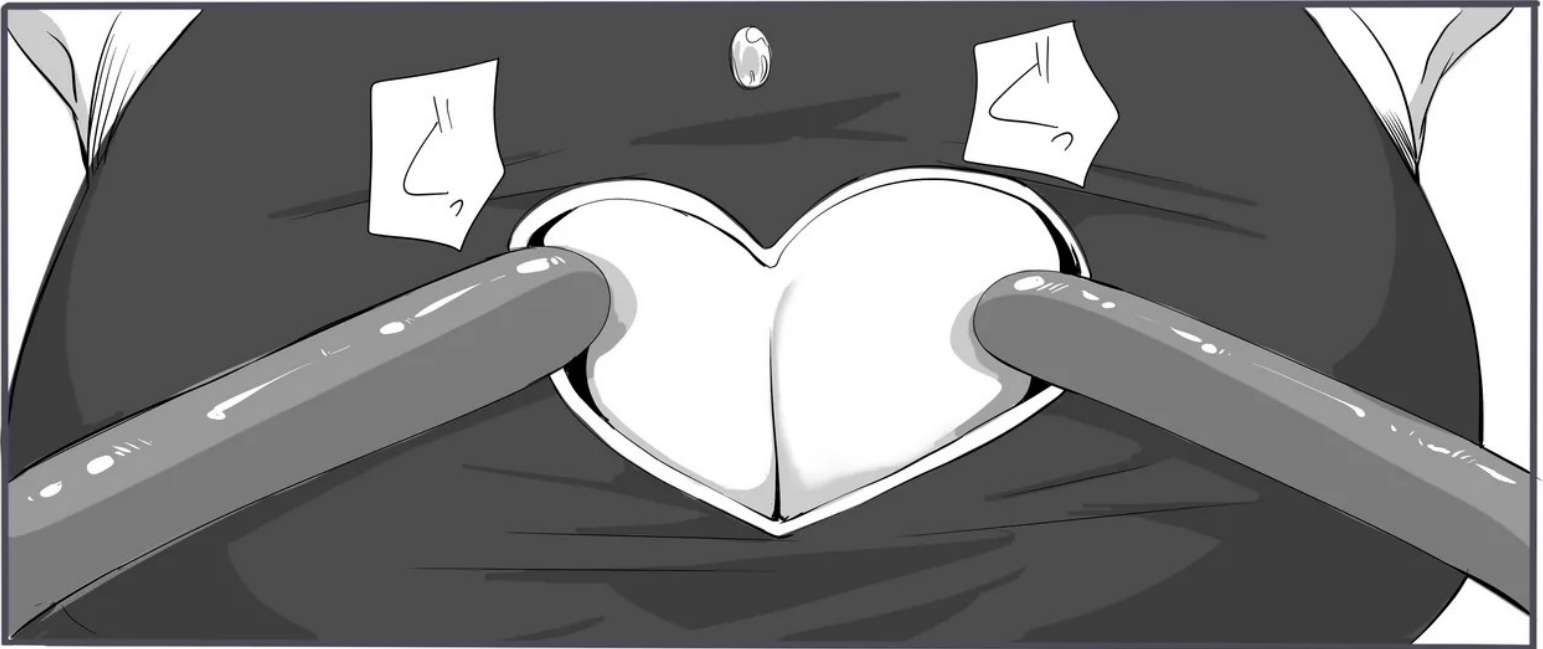


だが本番はこれから

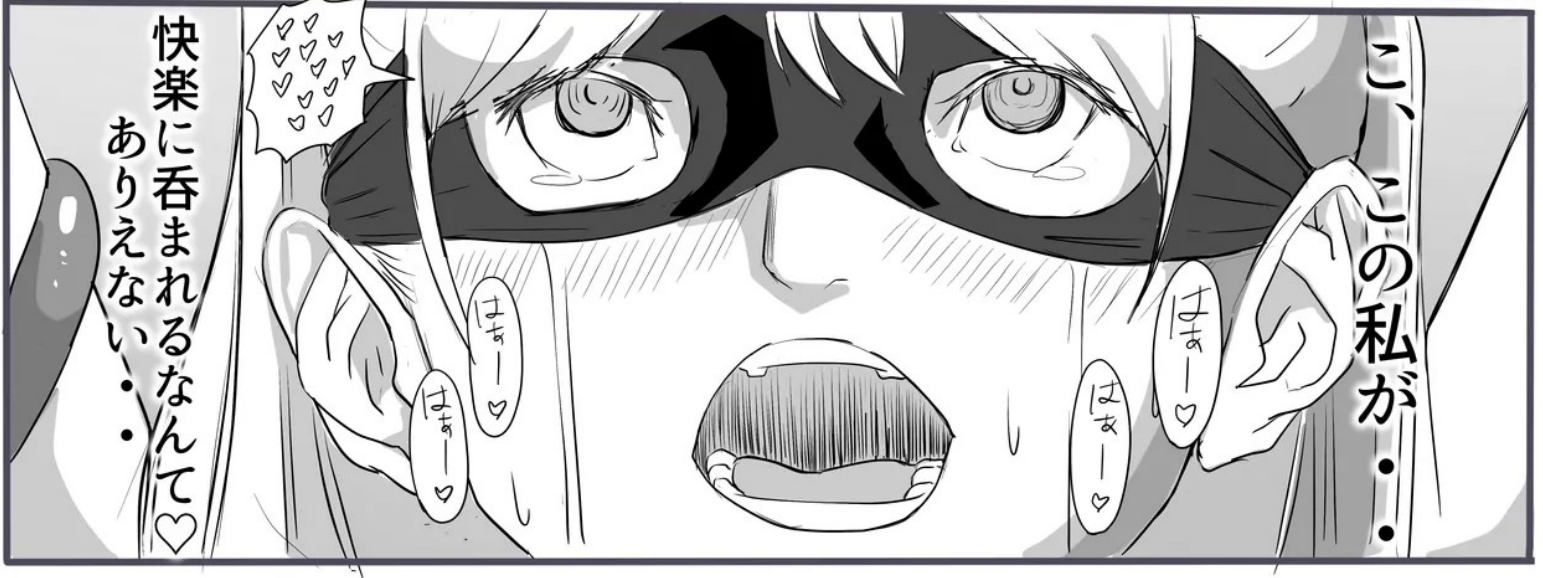
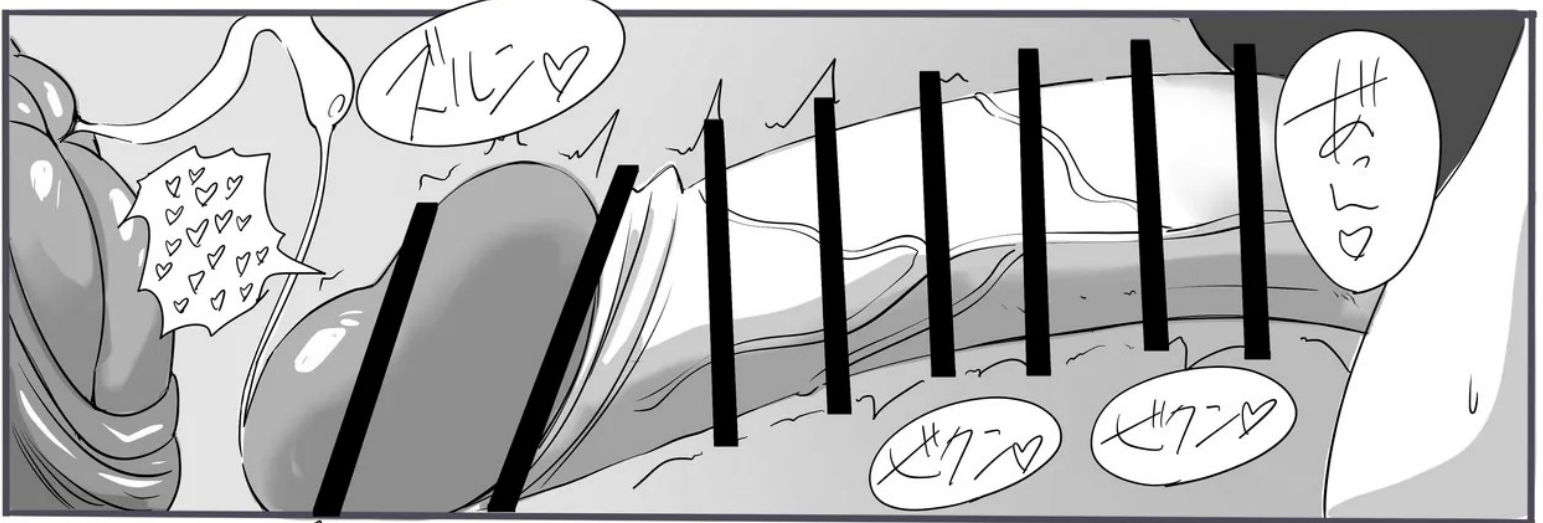
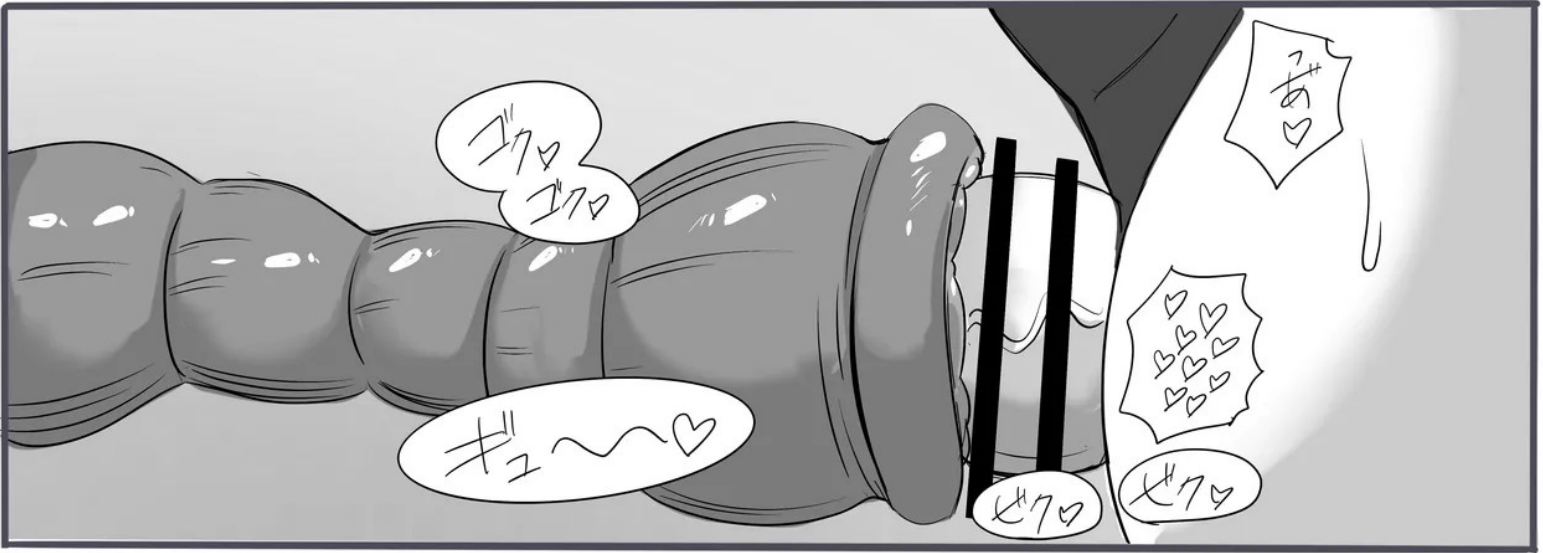
たつぷりと
搾ってやろう







限界が近い様だない
遠慮無く果てるがいい





ドグマを孕む母体として
活用させて貰う



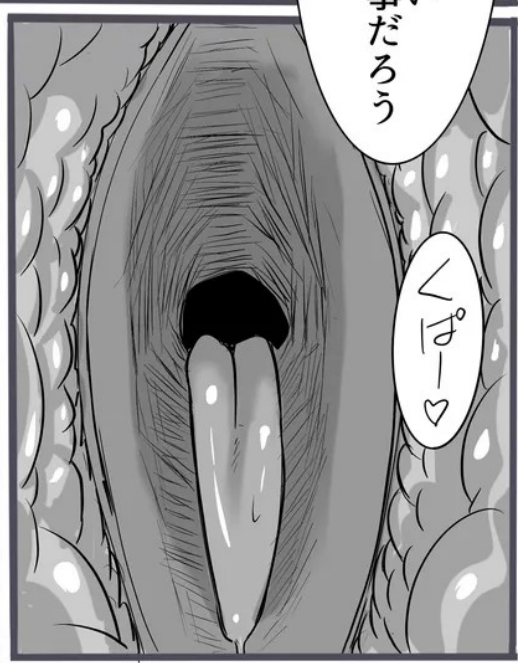
貴様の強靱な肉体



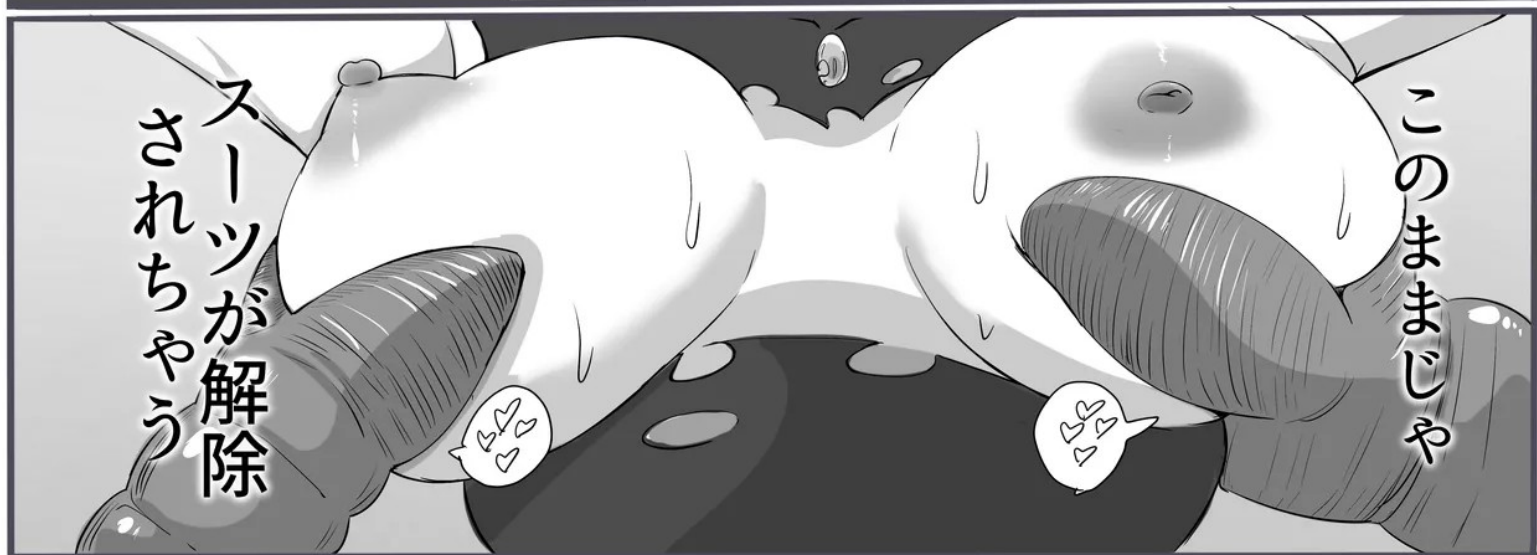
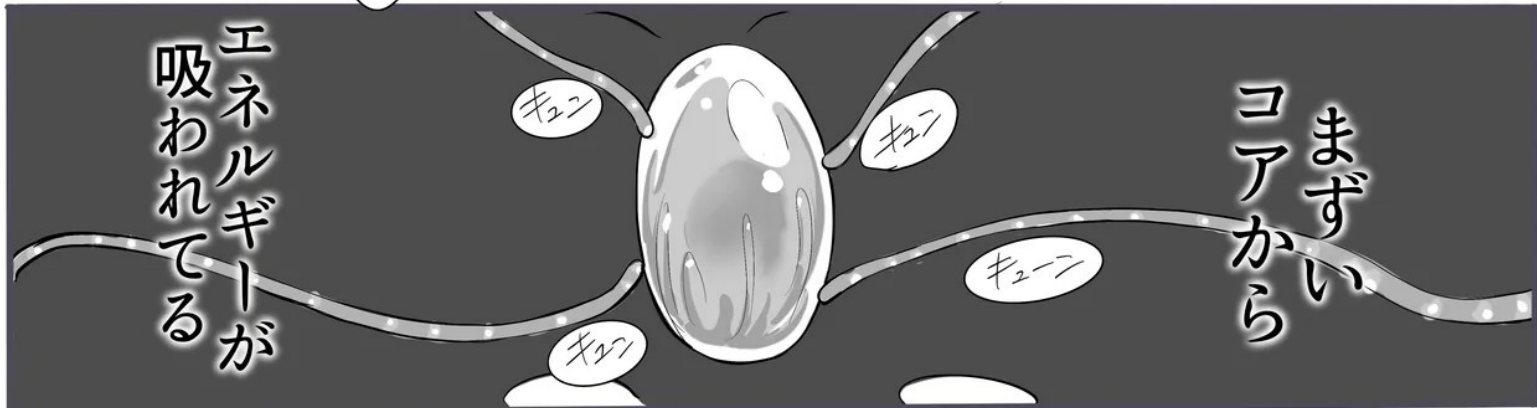
さぞ質の良い
ドグマが産まれる事だろう

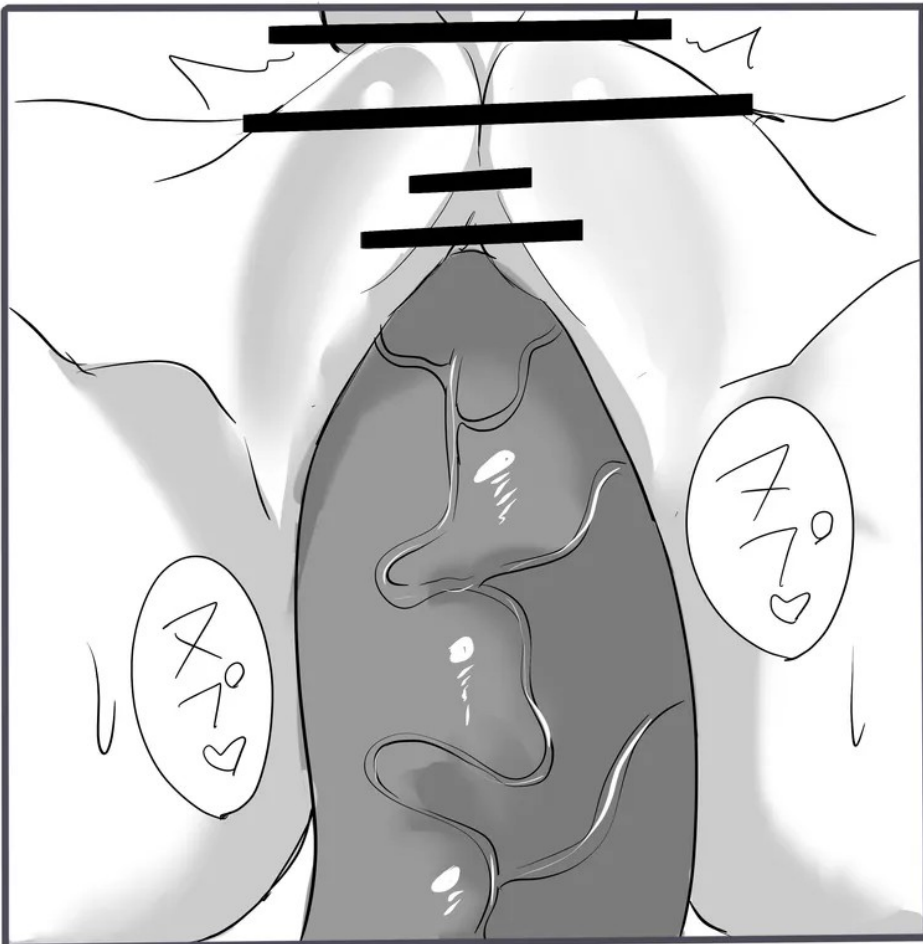


見返りには



くぱー♡

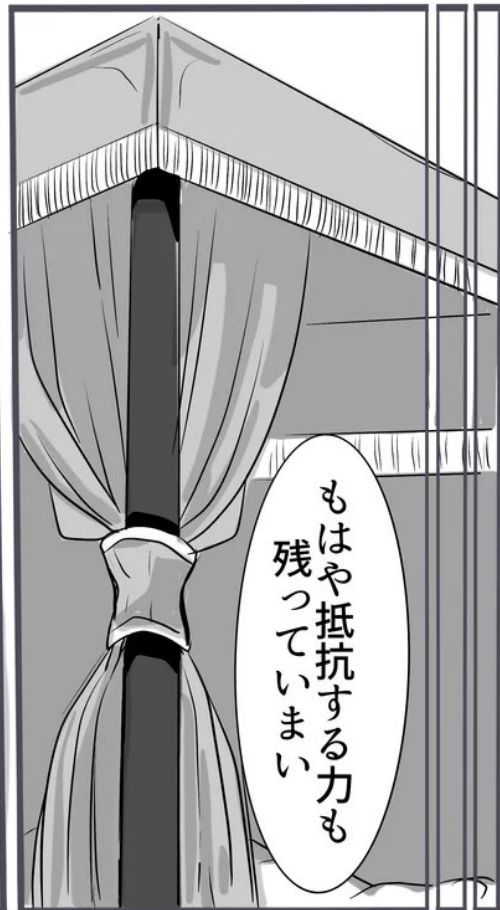






たとえ力を失っても
私はお前達に屈したりしない

ジャステイスレディよ



もはや抵抗する力も
残っていない



ジャステイスレディ

覚悟はいいな

私も剥き出しの姿で
お相手しよう

私は負けない



まだ心は折れぬか

そうでなくては
つまらん



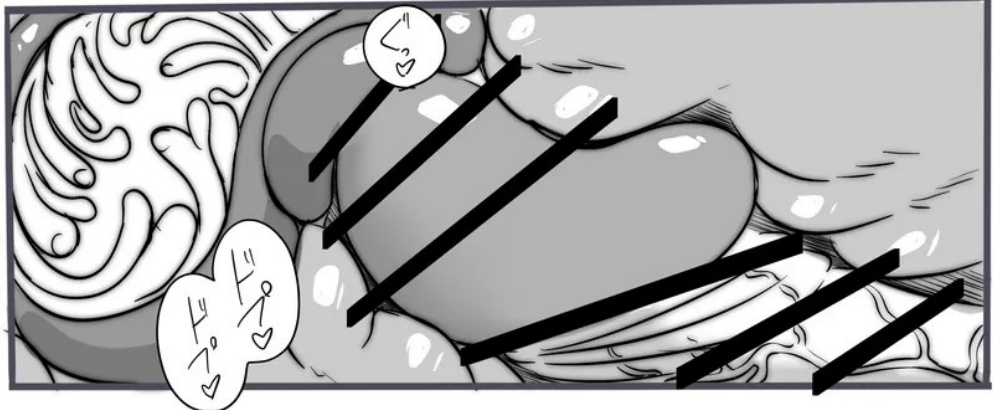
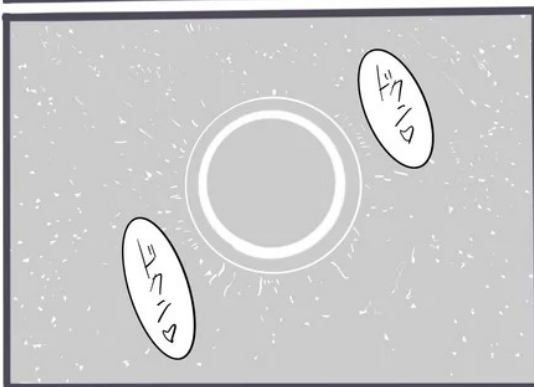
では

堕ちるがいい
ジャスティスレディ

そしてドグマを孕め！



セクシィ♡
セクシィ♡

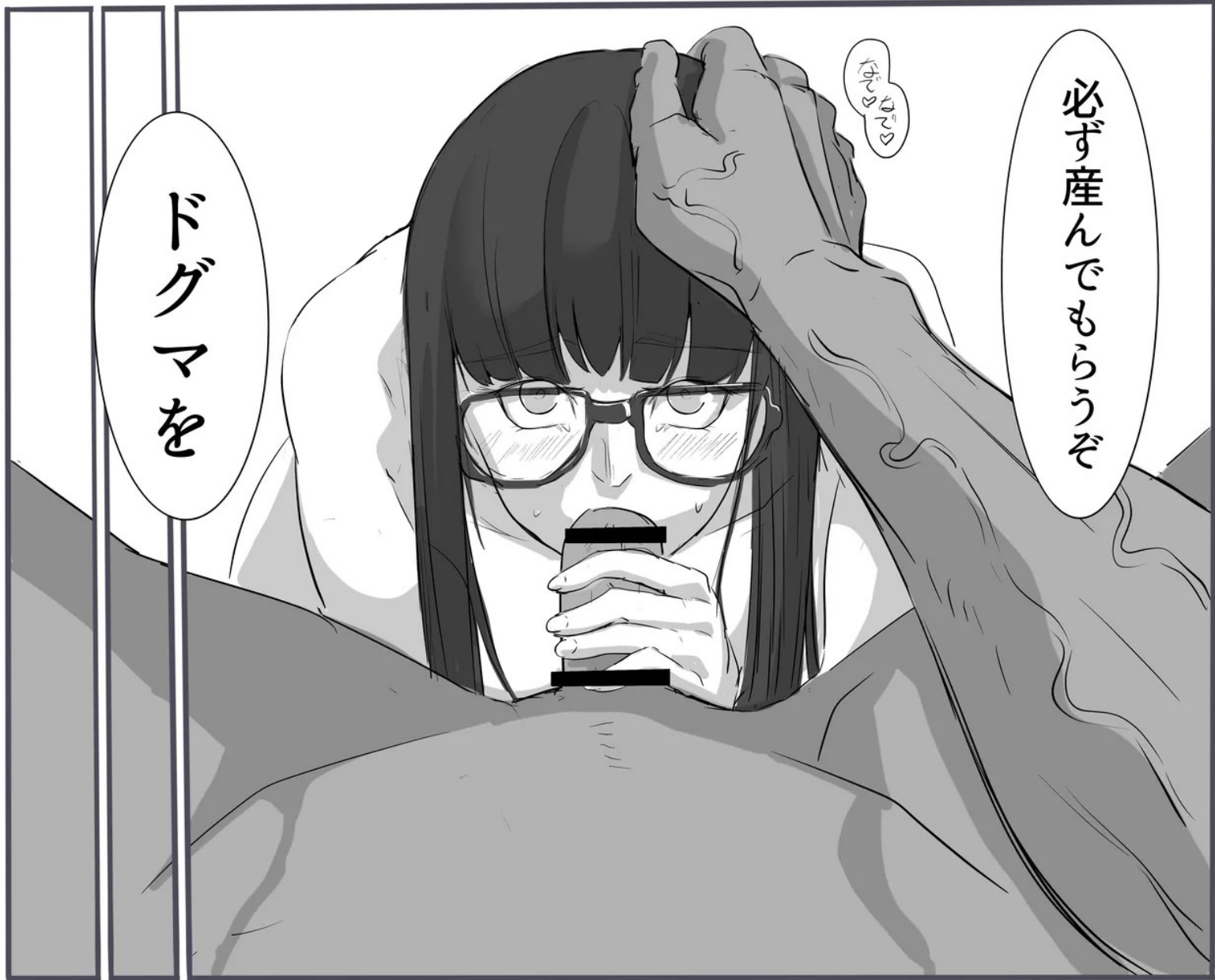




優秀な雌だ



上手いじゃないか
ジャスティスレディ



必ず産んでもらうぞ

ドグマを

ドグマに敗北した私は
実験体にされた

ドグマを孕む母体として
肉体を蹂躪された

もはや私に

抵抗する術は無かった



生まれ変わるがいい

さあ貴様もドグマ
として

ご苦労だった



ジャスティスレディよ

しゅしゅしゅ♡



新たな世界で

また会おう

はー♡

そうして私は

ドグマ
ファントムレディ
として生まれ変わった

正義の過去を忘れ
ドグマの下級兵に
毎晩腰をふる

快樂の事しかた
考えられなかった

肉体も思考も
完全に変わり

